

福井工業大学 後援会会報

第 32 号

平成18年4月15日発行

発行 福井工業大学後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号

電話(0776)29-2620 [大学代表]

定期
区期
懇談
総会

ご案内

出席回答4月30日までに必着

24ページ

FUTフォーミュラ

富士スピードウェイ疾走

第3回全日本学生フォーミュラ大会が開催され、本学フォーミュラプロジェクトチームが昨年に引き続き参戦しました。動的競技と静的競技の2種類の競技に参加し、動的競技の「エンジュランス」に於いて健闘、無事完走しました。また、静的競技ではユニークデザイン部門で、見事第3位を獲得しました。今後の更なる活躍が期待されます。



平成17年度学位記授与式



651人 羽ばたく

3月15日午前10時から、平成17年度福井工業大学の学位記授与式が、早春の晴れやかな雰囲気の中多数の来賓を迎えて、金井講堂において行われた。

三宅正宜学長から、大学院修士課程27人、工学部624人に学位記が授与された。

三宅正宜学長、金井兼学園理事長から次のようなお祝いと饞のことばがあった。

まずはじめに、金井学園福井工業大学の最も大切なこの式典に、お忙しい中また遠いところをお越しいただき、ご臨席賜りました来賓の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

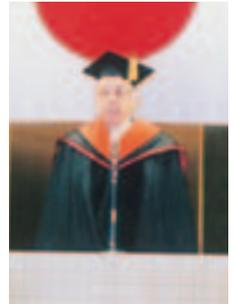
また、本学大学院、工学部合わせて六百五十有余名の卒業生の皆さんとご出席の保護者の皆さん方に、今日の佳き日を心からお祝い申し上げます。私も教職員にとりまして誠に大きな喜びの日であります。

それでは、卒業生の皆さん静かに目を閉じて今日まで生活を支え或いは学業を指導してくださったお父さん、お母さん、家族の皆さん、小学校から中学、高校の先生方、そして本学で教えを受けた先生方、先輩友人たちの顔を思い浮かべてください。また、皆さん方は日本の社会或いは広く世界からも多くの支援を受けて来られました。こうして今日まで受けて来たいろいろな支援を恩義として感じて、それに報いることをこれからの人生の大きな目標とし、本日を出発点としてご活躍ください。

では、しっかりと目を開けて話の続きを聞いてください。最近我々の身近なところでいろいろな想定外の出来事が起こっています。そのような時は、大学卒業式当時の総長に教わった話の思い浮かべます。この方のお名前は滝川幸辰先生で、学問の自由と大学の自治を守るためにわが国の大学の歴史に残る大きな役割を果たした方でありま

す。その教えの中から三つ程ご紹介いたします。まず一つには、我々日本人はYESとNOをはっきり言えない国民である。これは自主性のない証拠であり、信念に欠けることを意味しています。また、二つには、民主主義の本領はいろいろな事柄をいろいろな立場から議論を尽くし、多数決によって結論が導かれることである。たとえ自分の意見が反対であっても、その結論に従い受け入れる心の広さを持つことが必要であると、信念と雅量と両立させることを説かれました。さらに、三つには、ただ酒を飲むなという教えであります。当時我が国の社会を震撼させた造船疑獄、それにまつわるいろいろな贈収賄事件、その根源をいみじくも察して、ただ酒を飲むなという指摘をされました。この三つの教えは、今日我々がこの社会で直面しているいろいろな問題への取り組みに当たっての基準となる根拠を与えるものであります。

それでは、私から一言お願いを申し上げます。それは、これからは誰にも決してうそを付かない、とすることです。これは周りのすべての人々にうそを付かない、そして、自分自身にも決してうそを付かないということです。うそを付かないということは、お互いの堅い信頼の絆を作り上げていく第一歩であり、今の日本に最も必要な社会のルールを守るといふことに通ずるものです。幸い皆さん方は、本学の「建学の精神」において、節義を重んずる人格の育成を学びました。これを実



学長式辞

「誰にもうそを付かず、社会のルールを守り
実社会での活躍を期待する」

学長 三宅 正宜



理事長告辞

「不転の決意を！」

学校法人金井学園 理事長 金井 兼

本日、我が福井工業大学の学位記授与式のご案内を申し上げますところ、福井県西川知事ご名代としまして県総務部大学・私学振興課小林課長様はじめ多数の方々のご臨席を頂き、厳粛且つ盛大に学位記授与式が挙行できますことは無上の喜びでございます。お忙しい中をご臨席頂きまして有り難うございます。またただ今は、三宅学長から修士並びに学士の学位を受けられました六百五十一名の皆様には心からお祝いを申し上げます。おめでとございます。

今、皆さんがこうして生活しておられるこの日本、実は皆さんが生活していく上で必要なもの、食物だとか衣類とかそういったものは全て100%と言っていいぐらい海外からの輸入に依存しております。その資源のない国日本がどうして今こんなにも豊かな国になったのかといえば、これはひとえに皆さんの先輩たち、我々の先人たちが血と汗と涙を流して科学技術の研究に努めたからであります。この科学技術の研究なくして日本の経済成長はなかったのであります。

しかし今、我が国は少子・高齢化という現実に向き合っております。今までは非常にたくさんの方たちでこの国を支えてきたけれども、皆さんが五年後、十年後、二十年後には、非常に少ない人数でこの現状を守り支えていかなければならない、一人ひとりの双肩にかかる責任というものが今以上に重くなるということがあります。

また世界各地を見れば、今現在も紛争がいろいろ

るところで起きています。皆さんが大学及び大学院で学ばれた科学技術は、決してそのような殺戮を繰り返すために生まれ、そして育まれ、皆さんが学んできたのでありません。あくまでも人類社会の福祉に貢献する、平和に貢献してこそ真の科学技術であり、その科学技術を担っていく皆さんの責任は今後益々重くなると思われれます。

さてこれから進まれる道、これから始まる人生にはいろいろな苦難が待ちかまえていることでしょう。その苦難に遭った時には、決して諦めない、途中で放らない、投げ出さない、どんなことがあっても諦めないという強い信念、不転の決意を常に持ち続けて下さい。そのことが皆さんを取り巻く家族、地域社会、国家社会あるいは世界の社会を支えることになると思います。どうかこの不転転という言葉を本日の学位記授与式に当たり心に刻んで学舎を後にして頂きたい。

本日の学位記授与式は、大学又は大学院における最後のセレモニーです。しかし皆さんの人生にとってははいよいよ今日から始まる、人生のスタートを切るというセレモニーです。今日が皆さんの本格的な人生のスタートです。どこで活躍されようかと、どこで生活されようと福井工大の卒業生であるという自信と誇りを持ち、健康に留意されて益々活躍されんことを心から願っています。

皆さんの人生に幸多からんことを心から祈念して告辞と致します。

社会に出て実践するその第一歩が、誰にもうそを付かないということから始まると思います。

どうか皆さんは、この、誰にも決してうそを付かない。そして、社会のルールをしっかり守る。というこのことを我が福井工業大学の卒業生の信念と誇りとし、これからの実社会で活躍をしてそれぞれに立派な人生を歩むように心掛けてください。このことを切にお願いをして私の式辞といたします。

博士学位記授与式

平成十八年三月十七日午後一時三十分より、博士学位記授与式が、三階会議場で行われ、三宅学長から次の二名の方に学位記が授与された。

三宅学長からお祝いと饞のことばがあり、金井理事長からも祝辞が述べられた。

〔授与者及び学位名〕

- 小宮 強 介 博士（工学）
- 加藤 良 三 博士（工学）



学校法人
金井学園

福井工業大学

人事異動

(新任) 平成十八年四月一日付

学習支援センター長 白藤 純嗣
経営情報学科主任 梅野 正隆

教養部 講師 上杉 一郎
教養部 講師 野尻 奈央子

(新着任) 平成十八年四月一日付

電気電子工学科教授 龍見 雅美
機械工学科教授 小林 紘二郎
機械工学科教授 齋藤 年正
機械工学科教授 松藤 久良
建設工学科(土木)教授 齋藤 敏明
建設工学科(土木)教授 西牧 研壯
環境生命未来工学科教授 小松 紘一
経営情報学科教授 魚崎 勝司
経営情報学科教授 藤井 隆雄
建設工学科(建築)助教授 五十嵐 啓
環境生命未来工学科助教授 高橋 直行
機械工学科講師 山下 清隆
環境生命未来工学科講師 石黒 直哉
経営情報学科講師 木川 剛志
教養部 講師 杉本 武夫

(退任) 平成十八年三月三十一日付

機械工学科教授 堤 成晃
機械工学科教授 原 洋一
機械工学科教授 島本 幸次郎
建設工学科(建築)教授 鈴木 計夫
建設工学科(地球)教授 佐々 宏一
環境生命未来工学科教授 楠本 正一
経営情報学科教授 久志本 茂
経営情報学科教授 村井 裕
宇宙通信工学科教授 佐藤 清雄
教養部 教授 堀 黎美
教養部 教授 張 紀久夫
環境生命未来工学科助教授 岡島 喜信
教養部 助教授 和田 義一
機械工学科教授 後藤 徹
経営情報学科教授 松本 雅道
(平成十七年七月十二日付)
(平成十七年九月二十日付)

寄贈

三月十五日の学位記授与式当日、卒業記念品として「レスキューセット(五台)」と「空き缶・圧縮機(二台)」が贈られました。



ペットボトル圧縮機



レスキューキット



喜びの新工大生

平成十八年度入学式

平成十八年度入学式は、四月五日、金井講堂において多数の来賓、保護者が見守る中、大学院、工学部合わせて五百五十八名の新入学生が出席して祝福と喜びの入学式が行われた。

まず、三宅正宣学長から「入学後の皆さん全てに共通するこれからの目的・目標は、それぞれの将来のため」であると思う。これを受けて、本学教職員は、皆さん方の教育、大学生活の指導について、全てを学生のために、ということに掲げ、私どもの目標・目的としてこれから取り組んでいく。これは将来の活躍に必要な知識、能力をしっかりと身に付けることの手助けをしていくことである。予測のつかないこれから先



の実社会で活躍するために大切に必要なのは、一つには、科学技術の進歩に充分ついていける基本的な知識を理解し、その利用と応用ができる能力を身に付けることであり、二つには、変わりゆく社会を担う人間として、社会のルールを守り、信頼される人間性を磨いておくことである。このことを具体化する教育とは、本学の特色としている創造教育であり、これを受けるのは皆さん方である。先生方のキメ細かい指導のもと、皆さん方が長い将来において、実社会で立派に働き豊かな人生を送っていくための力のもとを付けるのが本学の教育であり、ここでの大学生活である。どうかこのことを信じて今



日からの大学生活に意欲と熱意をもって取り組んでいただきたい。」と激励された。

次いで、金井兼理事長から「戦後、日本の経済が大きく危機に見舞われたのは二度ある。第二次世界大戦の敗戦によるもの、そして昭和六十年代終わりから平成の始めにかけてのバブル経済の崩壊である。しかし今、日本経済は回復期にある。その原動力は製造業にある。製造業こそ科学技術である。本学にて科学技術者としての自信と誇りを身に付けていただきたい。それが今後の日本、世界を牽引する原動力になり、我が学園の建学の精神、人類社会の福祉に貢献することになる。これから出会う困難を克服し、立派な科学技術者として成長して欲しい。これからの大学生活が充実した楽しいものになるよう祈念する。」とお祝いの言葉を述べられた。





大学院改革と今後の展開について

副学長・教務部長 城野政弘
(機械工学科・教授)

二十一世紀は、知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であるといわれており、それを支える人材育成のための高等教育の重要性が強調されています。中でも大学院修士課程の修了生が飛躍的に増大しており、全国的にみて技術系企業への就職の中心が学部卒業生から修士課程修了生へ移行している段階で、大学院教育の充実・改革が益々重要となつていきます。

このような状況のもと、昨年九月中央教育審議会から「新時代の大学院教育―国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて」という答申が出されています。基本的な考え方として、今後の大学院は、①大学院教育の実質化、②国際的な通用性、信頼性の向上を強化、推進していくことが肝要である」と謳われています。

①は、教育課程の組織的展開の強化とも言

い換えられており、具体的内容として、各大学院課程の目標を明確にした上で、教育課程を編成する基本組織である専攻単位で、特に人材養成機能の面において、自らの目的・目標を明確化し、これらに沿った体系的な教育プログラムを編成、実践することが必要とされています。

②については、大学院で養成される人材が国際的に活躍することが期待され、そのため、大学院評価の確立、国際的な質保証が必要とされています。

以上のような審議会答申や大学院の教育認定の動きを考えると、我が大学においても大学院の充実・改革を行うことが急務であります。そのため大学院関連諸委員会において、現状の改善のみならず、今後の改革の方向を議論していますが、先ずカリキュラムの見直しから取り組んでいます。答申が指摘するよ

うに各専攻において、人材育成の目的・目標を明確にし、それに対応した教育カリキュラム(特に教員に対応した授業科目ではなく、専攻としての組織的なカリキュラム)の設定と実践が望まれています。

次に大学院修了生の進路問題があります。昨今企業では、問題対応型の人材ではなく問題設定・解決型の人材を欲しています。多くの企業において修士修了生の就職が定着しつつありますのはその一つの現れかと思われれます。本学の修了生もこれに応え得る力を身に付け企業からの期待に沿うことが、進路確保に繋がって行くものです。

これらを実現するには教育目標を公開するとともに、地道な積み重ねが重要であり、教職員一同努力しているところでありますが、後援会の皆様方にも、ご理解とご支援をお願いする次第です。



学園図書館について

図書館長 大家 寛
(宇宙通信工学科・教授)

福井工業大学図書館は厳密には金井学園図書館内に属していますが、大学図書館の比重は大きく本稿においては学園図書館と一体と理解いただけます。

本図書館は既に、十七万冊を大きく超える蔵書数を擁し読書・学習環境が十分に整えられた総延べ面積二、一一六㎡の中規模図書館として、銚之原課長以下総勢六名のスタッフにて鋭意、管理・運営されています。平成十七年度の総予算は三三、二六五、〇〇〇円でその八九％が大学図書館予算となっています。

図書館運営については大学各学科、福井高等学校、同中学から選出された図書委員会委員で審議されます。特に図書選定は各部局から選出された教職員・図書選定委員と大学各学科各学年および、大学院各専攻より選出された学生委員からなる総勢七十四名の図書選定委員により実施されています。

図書館における機能は広範囲に拡大しつつあります。まず視聴覚コーナーの充実が顕著なものとして挙げられます。一〇台の視聴覚

ブースはデスクプレーが完備され、講義を補助教材は、学生はもとより教職員の立場からも効果的教育施設の提供の場として感銘をうけるものが多くあります。また、最近のITの発達は図書利用の形態に革命をもたらしつつあります。電子資料コーナーの設置や資料検索の充実もその一環ですが、とくに当図書館が踏み切った文献検索複写サービスは特記されるものです。

大学図書館は大学における教育と研究活動の中核機関ともいわれていますが、その一翼をなしているのが最先端の研究情報を網羅する洋雑誌の購入、閲覧、複写にあります。当図書館はこの機能を全面的に停止し、英国の大英図書館(BL)のBL Inside Webと契約、活用する道造っております。当図書館が承認するIDおよびパスワードのもと許諾される予算枠のなか自由に文献を得ることができます。急ぐ場合BLに連絡後遅くとも二時間以内に必要文献が入手され、研究教育活動は滞りなく進められます。

外部に開かれた図書館としても努力されています。とくに平成十六年度以降は、学園の方針に沿って、当図書館の一般市民への公開を実施しています。学外者の入館を容易にし、貸し出し手続きを平易にして、多くの利用者待っております。並行して大学図書館の相互関係にも深く配慮し、当大学では、私立大学図書館協会西地区部会メンバー図書館として相互協力連絡会、地区部会、研修大会、春秋の協議会等々の開催に積極的に協力してまいっております。

昨今の学生の図書館利用率は次第に上昇しております。その一つの理由に創成科学のよう新たな新しい自主的に学ぶ科目が登場し図書と対峙する機会が増えたことがあげられます。一方ますます多様化する情報手段のもと図書館の革新が強く求められています。特にIT関連の分野では予算措置が不可欠ですが鋭意、実現を図っております。今後とも学園図書館の発展にご支援をお願いいたします。



学習支援体制の強化・充実

学習支援センター長
学習支援室部会FD教育部会主査

(電気電子工学科・教授)
白藤純嗣

高校のカリキュラムが多様化され、大学入試も種々の形式を導入していることから、本学に入学する学生諸君の高校での履修内容・レベルも様々になっている。一方、大学ではすべての学生が社会人として技術者として必要な基本知識を習得するよう求められている。高校で習わなかった物理や化学も必要に応じて履修せねばならないし、微分や積分も大学では当然のように学ぶことが要求される。また、実験や実習のように手を使うことが必要な科目も数多く用意されている。このような高校と大学の段差にとまどう学生が多いようである。学生諸君は入学後の出来るだけ早い時期に、大学での勉学と高校の勉強の仕方の大きな違いを認識することが、途中で挫折しないために必要なことである。

私たち教員は、本学の卒業生として恥ずかしくない学力を身に付けた学生諸君を世に送

り出す責務を負っている。そのためには学業に対するきめ細かい指導と支援が重要で、その実践の場としてF・U・T・タワー内に学習支援コーナーが開設された。週日の四・五時限目に英語と数学を担当する教員がコーナーに待機し、入室する学生に個人指導を行っている。平成十七年四月の開室当初は入室する学生も少なかったが、今では毎月二百名を越す学生が学習支援コーナーを訪れており、これまでの体制では手に余る状況になっている。このような状況および学習支援体制の強化・充実の重要性に鑑み、平成十八年四月から、学生が何時でも利用できるよう支援コーナー専任の教員（英語・数学各一名）が終日常駐することになっている。また、学習支援のための企画を積極的に立案・実施するため「学習支援センター」（仮称）の設置を提案しているところである。

大学として学習支援や教育の充実、教員の意識改革に力を注いでいるが、実効が上がるには学生諸君の自覚と協力が欠かせない。大学・学生・家族の三者が同じ目標に向かって力をあわせることが重要で、後援会会員各位の一層のご支援をお願いする次第である。





地域共生学の開講

(建設工学科建築学専攻・教授)
 地域共生学部会主査 吉田 純 一

「地域共生学」とは、地域の政治や経済、

工業、産業、文化などさまざまな分野で活躍
 中の方々を客員教授に迎え、それぞれの分野

における現況や実態あるいは将来の展望など
 を聴きながら、社会人としての教養や義務を

学生時代に自覚して欲しいとの目的で、平成
 十七年度のカリキュラムに新設された講義科

目である。二年生を対象にした科目のために
 本格的な開講は平成十八年度からになるが、

今年度はその試行として教養講座の中で下記
 の八講座を企画、開講された(⑦山本氏の講

座は大雪のため中止、平成十八年度に開講さ
 れる予定)。

①十月十九日・西川一誠氏(福井県知事)・
 二十五年後のふくい・福井の目指すべき未

来像、
 ②十月二十六日・今村善孝氏(大電産業(株)社

長)・福井の産業構造の変化への対応力、
 ③十一月九日・早川公三氏(野村證券(株)福井

支店長)・資本市場の役割、

④十一月十六日・松浦正則氏(株)松浦機械製

作所社長)・変化し続けるグローバルリズム
 (Made in Japan)に誇りをもつ)、

⑤十一月三十日・三田村庄一氏(サカイオー
 ベックス(株)社長)・モノづくりと人生、

⑥十二月七日・江守清隆氏(江守商事(株)社
 長)・北陸から世界へ、

⑦十二月十四日・山本一雄氏(あおい商事(株)
 社長)・若者よ、夢を持って、

⑧十八年一月十一日・村中昌弘氏(村中建設
 (株)社長)・建設産業からまちづくり産業へ。

客員教授は理事長のご尽力で、西川知事を
 はじめそうそうたるメンバーが招聘された。

各講師はそれぞれの立場、視点から現代社会
 の実情や問題点、将来の展望、そして自らの

経験を踏まえながらの人生訓など、スライド
 やプリントを用いながら具体的にわかりやす

くお話いただいた。どの講座も受講生は七十
 〇九十名であったが、学生たちは講師のお話

に惹き込まれ、熱心に耳を傾けていた。我々

の講義にみられるような居眠り学生は皆無で

あった。毎回講義終了時にレポートを書いて
 もらったが、どのレポートも新たな発見の喜

びや今後の心構えさらに講師への感謝の念に
 溢れていた。なお、各講師へのお礼とともに

これらレポートも後日講師へ届けられた。
 今年度は試行であったが、こうした学生の

反応からも「地域共生学」の有効性を実感し
 た。平成十八年度以降は数百名に及ぶ二年生

の受講が予想さ
 れ、それに伴う
 新たな課題も生
 じてこようが、

当部会としては
 より大きな、多
 くの成果が得ら
 れるよう努めて

いきたいと考
 えている。

ている。



理工系就職環境の変化

学生の就職環境は激変していると言っても過言ではありません。

二〇〇七年問題（団塊の世代の定年）を憂慮した多くの企業では、後継者確保のため新卒者の採用を前倒して計画的に実施されているようです。

特に教育に時間を要するエンジニアの卵の採用には積極的に、求人担当者が本学を訪ねられた数は、平成一七年三月卒業生に対しての約二二〇社に比べ、平成一八年三月卒業生に対しては約三百七十社と急増しております。更に平成十九年三月卒業生に対して「学内企業合同説明会」（平成十八年二月十五日～二十日）には県内外の企業二百九十四社（昨年は百八十社）が参加され、本学卒業予定の学生だけを対象にそれぞれの会社説明が熱心に行われました。

このように、理工系学生を取り巻く就職環

境は「買い手市場」から「売り手市場」に完全に移行した状況となりました。

しかし、「売り手市場」だからといって「バブル時期の売り手市場」と同じと考えると大きな過ちになりかねません。今回の「売り手市場」は企業人としての可能性を持った人間力豊かな学生にとつてのみの「追い風」といっても過言ではありません。これを裏付ける事柄として、人間力豊かな学生やこれを匂わせる学生は、何社からも内定を獲得する反面、人間力が欠如している学生は何社受験しても内定を獲得することができない二極化が起こっており、今後更にこの傾向が顕著になっていくと考えられます。

それでは、企業が求める人間力をもった期待される人材とはどのような学生なのでしょうか。企業の採用担当者は「明朗快活で社会人としての基本マナーがあり、何事にも好奇



就職支援課長 中道 義忠
(電気電子工学科・助教授)

心を持ちチャレンジ精神旺盛でコミュニケーション能力がある学生」と口を揃えて言います。このような資質を持った学生は、上司や先輩から好かれ、いろいろな事柄を教えるもらえ、好奇心旺盛で吸収力が速いため短期間で戦力になると言うことでしょう。

就職支援課では三年前から「低学年からのキャリア支援プログラム」に基づき行ってい



る各種ガイダンス等で前述のような若者になるため有意義な学生生活を送ろうとアナウンスしておりますが一朝一夕に効果が表れることは期待できません。

これらの企業が望む人間力（資質）は特別な力ではなく、自立心が芽生えれば自然と身に付く力だと思えます。しかし、少子化の影響で核家族が進み、「子供は国の宝」から「子供は家の宝」に変化してしまい、大人の子供

に対する接し方が大きく変化したのではないのでしょうか。「子供は国の宝」時代は、親は勿論のこと学校の先生方や近所の大人たちも若者たちを速く精神的に自立させるための教育・指導を行っていたように思います。現在のそのような「子供は家の宝」社会では、全ての家庭がそうだとは言いませんが、子供を大切にするあまりに若者たちの自立を抑制するような育て方をしているように思えてなりません。こう言っている私も例外ではなく、反省する点が多々あります。

自立心の乏しい若者は、往々にして職業観や労働意欲が低く、フリーターやニートになる要因を持つていると言われています。したがって、如何に早い時点で自立することを自覚させることができるかが大切であり、教育に携わる私たちと保護者の皆様との目的意識が一致することが重要でありますので、ご家庭でのご指導をよろしくお願い申し上げます。第です。

話題は変わりますが、学生の企業選択にも少子化が大きく影響を及ぼしているようです。

昨年末には、三年生の保護者の皆様にご子

女の就職に対するご希望を返信ハガキにて調査をさせていただいたところ、保護者の皆様の中には「家から通勤でき、地元の優良大手で転勤の無い企業」をご希望されているようで、これは学生への調査における希望の就職先と大差ない結果でありました。これは、大切なご子女に対する親心、お世話になってきたご両親に対するご子女の気持ちの表れ、悪く言えば「子供離れできない」親の気持ちと「親離れできない」子の気持ちの表れだろうと思います。しかし、大卒として就職し、このような条件を全て満たせる企業が本当に存在するのででしょうか。大卒は高卒と違い総合職としての採用が多く、企業にとっては幹部候補として期待する人材であります。他府県に支店を持つ企業では、彼らに経験を積ませるために転勤を命じてくることは必至です。

このような事情については、学生達には就職ガイダンスや個人面談等で説明しておりますが、ご家庭に置かれましてもこの点をご理解いただき、ご子女の就職に関するご指導とご支援をお願い申し上げます。

資格取得 コンクール

昨今の日本経済は構造的な大変革が進んでおり、企業が生き残るためには経営の合理化とともに、早急に新技術・新商品の開発と事業化を推進することが不可欠になってきています。このため企業は新しいことに挑戦する意欲が旺盛であり、専門的能力が高く即戦力となりうる人材を求めています。このような就職環境に対応するため、本学では平成十二年度から冊子「就職活動に有利な資格に挑戦しよう」を刊行し、全学生に配布しています。

この冊子では、各学科が推奨する資格を初心者レベルのものから高度な資格まで計画的に挑戦できるようなアレンジし、関連する授業科目や相談できる教員名、費用などの情報を一覧表に示しています。これによって学生諸君が自分の志望業種に適した資格を取得し、就職活動を有利に展開できる切り札として役立たせることを願っています。別表は平成十七年度の在学生が今年度取得した資格の一覧です。

なお、就職活動の一環として、平成十四年度から放課後の時間を利用して外部講師による受験対策特別講座（有料ですが格安）を開催しています。この特別講座の対象には、地方公務員、警察官、消防官、宅建、CAD、基本情報技術者、初級シスアド、二級建築士等が含まれます。学生にはPRしていますが、保護者におかれましてもご一考願えば幸いです。

平成17年度 学科別資格取得状況表

(平成18年2月28日現在)

資格名	電気	機械	建築	地球環境	応用	経営	宇宙	原子力	合計
高等学校教諭一種免許状（工業）	8	7	9	3	8	4			39
高等学校教諭専修免許状（工業）									0
基本情報技術者						2			2
電気工事士 第1種	11								11
電気工事士 第2種	5							1	6
第3種電気主任技術者	4								4
工事担任者デジタル 第1種	2								2
工事担任者デジタル 第3種	1							2	3
電気工事担当者デジタル・アナログ総合種	1								1
危険物取扱者 乙種第1類	1				1				2
危険物取扱者 乙種第2類	1				3				4
危険物取扱者 乙種第3類	1	1			2				4
危険物取扱者 乙種第4類	1	1		1	4			1	8

福井工業大学後援会会報

資 格 名	電気	機械	建築	地球環境	応用	経営	宇宙	原子力	合計
危険物取扱者 乙種第5類	1				2			1	4
危険物取扱者 乙種第6類	1				1			1	3
消防設備士甲種第4類									0
ボイラー技士 2級					1				1
中古自動車査定士		31							31
機械設計技術者試験3級		1							1
福祉住環境コーディネーター 2級			1						1
福祉住環境コーディネーター 3級			2						2
宅地建物取引主任者			4						4
第3級陸上特殊無線技師								1	1
CAD利用技術者試験2級		1							1
日本商工会議所簿記検定3級						1			1
CGエンジニア検定3級						17			17
マルチメディア検定2級						2			2
Access2003						1			1
初級システムアドミニストレータ	3					2			5
マルチメディア検定3級						26			26
CGクリエイター検定3級						24			24
Word2003						34			34
Word2003エキスパート						2			2
Excel2003						37			37
Excel2003エキスパート						20			20
特定化学物質作業主任者					1				1
エックス線作業主任者					1				1
合 計	41	42	16	4	24	172	0	7	306



並列コンピュータとその応用技術の研究

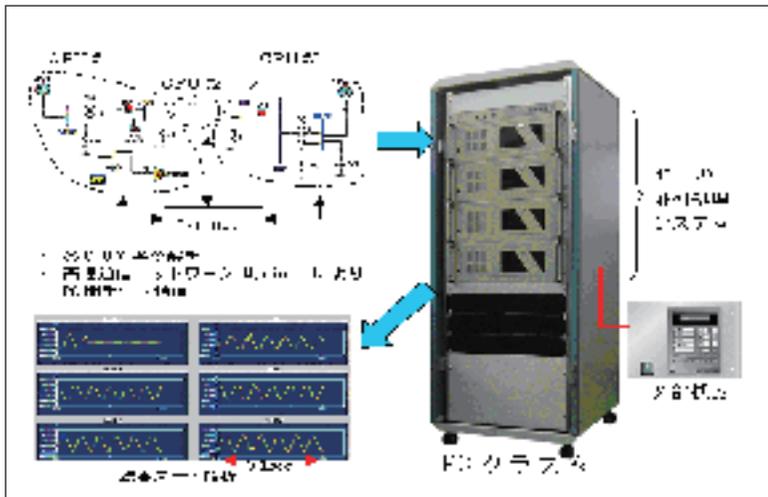
研究室
を
たずねて

電気電子工学科・教授 田岡久雄

大規模なシステムの解析・大量のデータ処理などに使用されている大型計算機は、CPUの演算処理能力の向上のために様々な技術的工夫が凝らしてあるが、単一のCPUではその性能向上には一定の限界がある。一方、近年のPC（パソコン）の低価格化・高性能化により、複数のPCを組み合わせることで、安価な並列処理システムの構築が容易になっている。その一つが、複数の汎用PCを高速の通信ネットワークで接続して並列処理を行わせるPCクラスターである。PCクラスター並列コンピュータは、システム設計次第では低コストで従来のスーパーコンピュータを凌ぐ能力のコンピュータが実現できるもので、コストパフォーマンスの非常に高い高速大容量データ処理を可能とする。

本研究では、図1に示すようなPCを複数台用いたPCクラスター並列コンピュータを開発し、PCクラスター上で電力系統における種々の現象解析や機器試験に欠かせないシミュレータを実現し、その高性能化・低価格化に取り組んでいる。PCクラスター電力系統シミュレータは、電力系統の送電線を分布定数回路としてモデル化することで、変電所・発電所の単位に分割し、それぞれの計算モジュールを各PCに割り当て、送電線上を伝わる進行波に相当するデータを高速通信ネットワークを通じて交換し、五十μ秒の時間刻みで波形解析が可能なりアルタイムシミュレーションを実現している。

図1 PCクラスター電力系統シミュレータ



生時の解析、設備運用計画の立案などを効率よく行い、緊急時の対策や顧客サービスに膨大な情報処理能力を生かすことを可能にする電力系統用ポータルシミュレーションシステムが実現可能となる。



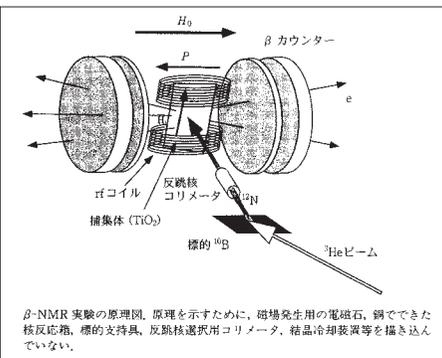
結晶中希薄不純物の放射線(β 線)検出による高感度核磁気共鳴

原子力技術応用工学科・教授 南 園 忠 則

研究室
を
たずねて

半導体の機能は例えば純粋のシリコン(Si)等のような単結晶とその中に混ぜた極微量のホウ素(B)不純物で決まる。この極微量の不純物の結晶中の働きを個別に調べて、この結果を使って新しい材料を作る事をめざせる時代になった。半導体のような素子もそうであるが、世界最強の永久磁石ネオマックス(Fe、Nd、B合金・非磁性のBが8%も入れてある!)のような新機能材料作成を予言出来るようになる事を目指している。核磁気共鳴と言えば、医療診断で断層写真撮影に使われているMRIで皆さんに馴染みの方法だ。だが原理を説明するのは少し面倒だが、次の二点を知って貰う事で馴染めると思う。水素原子の中心にある陽子(実は極微小な磁石であり、磁場の中で北極を向く陽子の数と南極を向く陽子の数に少し差が出る。(北極向きの数-南極向きの数)÷(陽子全体の数)) \times スピンの偏極が \sim 百万分の1程度だがMRIはこの資料の周りにコイルを巻いてスピン偏極の回転に伴う電気信号を取り出している。だから大体重さ 0.1 グラム以上の資料が要る。

技術の発展は目覚ましく、核反応で寿命が百分の一秒から百分の一秒程度の短い寿命を持つ原子核(短寿命核・例えば $N-12$ や $B-12$ 原子核等)を大量に生成出来るようになった。また、この短寿命核が核反応で大きくスピン偏極(~ 0.1)する。これは先の陽子より十万倍も大きいから原子核の数で比べると先程の陽子数の百億分の一という天文学的に少ない数で良い事になる。そして、核から出てくる放射線のうちで β 線を出すものだけを考えて、偏極核から放出される β 線はスピン方向に非対称に角度分布する。この非対称度(スピン偏極方向と反対方向に出てくる β 線の割合)は $\sim 20\%$ もの巨大な信号になる。我々はこの非対称を信号にする核磁気共鳴(NMR)を開発した。この方法を模式的に図示した(文献)。核反応で出来る $N-12$ 原子核等には大きなエネルギーが付くので、これを直接利用してそのまま結晶に突っ込むと結晶の中に不純物を入れる(深さ 1 mmの 1 mm \times 十分の 1 mm)事が出来る。 β 線は 7 MeVという高いエネルギーであり、プラスチックを 4 cmも突き抜けるので、検出が容易なのだ。図で、



β -NMR 実験の原理図。原理を示すために、磁場発生用の電磁石、銅でできた核反応箱、標的の支持具、反跳核選択用コリメータ、結晶冷却装置等を描き込んでいない。

e は電子(β 線)、 H_0 は外から掛ける磁場、 P は偏極である。 β 線カウンター以外は真空中に置いてある。

最近この特徴を生かして結晶の中を探る研究を進めて、希薄不純物の結晶中で受ける電場や、磁場を測って電子構造についての新しい知見を得る研究を進めている。今迄に分かった事は、(1)資料と不純物の組み合わせが自由出来る、(2)核反応で作れるから自然に無い元素を使えてテスト出来る、(3)NMRだから結晶内部電場、磁場、NMR測定幅が非常に高い精度で測定出来る、(4)偏極が放射線損傷では直ぐには崩れず、研究に使える、(5)測定が容易である等である。

Open research center

オープン・リサーチ・センター この一年の歩み

the course of this year



研究代表者 城田 靖彦

(環境・生命未来工学科・教授)

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター（ORC）」の選定を受け、活動を開始してこの三月末でほぼ一年になりました。この間の活動状況について報告いたします。

研究課題「次世代環境調和型科学技術の研究開発」のもとに、環境調和を機軸とした広範な領域の科学技術について総合的な視点から研究を推進することを目指して、「エネルギーの有効利用」、「生物資源の有効利用」、「地球環境の保全」、および「環境適合性材料」の四グループ体制で研究を進めています。また、学内外からの人材の受け入れと技術者・研究者の養成、学外共同研究や産学共同研究などオープンな体制での研究推進と成果の公表などORCの趣旨に沿った活動を行っています。

本プロジェクトに参画している教員がそれぞれの目標に向かって研究を推進するとともに、

国際共同研究や産学共同研究を展開しています。人材受け入れの面では、昨年十月から本年三月末まで、マレーシア理科大学の Tay, Guan Seng 博士が博士研究員として第二グループの研究に参画しました。



オープンな体制での成果発表会

オープンな体制での活動という面では、共同研究以外に、公開成果発表会、公開ORCセミナー等を開催しています。昨年十二月二日（金）に第一回全体会議をF・U・T・フォーラムとして開催し、全班員が研究目

標とその背景について発表しました。学外から二十名の方々がご参加をいただきました。次いで、本年三月十日（金）に、第二回公開全体会議を開催し、全班員が一年間の研究成果を報告しました。この間、ORCセミナーを三回（昨年十月三十一日（月）、本年二月八日（水）、二月二十八日（火））開催し、それぞれ、米国アイオワ州立大学の Joseph Shinar 教授、兵庫県立「人と自然の博物館」主任研究員 八木剛先生、カナダモントリオール大学の Winnik 教授によるご講演をいただきました。いずれのセミナーも、本学の教員および大学院生が参加して活発な質疑応答が行われ、盛會で有意義でした。また、第十七回北陸STCサロン、北陸技術交流フェア2005に出展するとともに、本学ORCの活動を記したニュースレター（創刊号）を発刊しました。

大学祭と同時開催

保護者キャンパス見学会

及び懇談会



大学祭と同時開催された保護者キャンパス見学会及び懇談会には、各地から多数の方が参加されました。

まず学園レストランにおいてキャンパスランチを食され、「これからの健康科学」というテーマの講演を聴講された後、より充実した教育や研究を推進するための多くの研究設備や実験室、新しく完成したF・U・T・タワー等を見学されました。

また、六月の地区懇談会に参加できなかった方を対象にした個別懇談会も開催され、参加された保護者は、学業・就職・学生生活等に関することに質問や相談をされ、大変充実した一日だったようです。

恒

例の大学祭も今回で四十二回を数え、昨年の十月八日(土)から十日(祝)まで開催された。会期中には、八日にオーケシヨン、九日にビンゴ大会とメインのアーティストライブ、十日にはフリーマーケットが行われ、学園は「祭」一色に塗り替えられました。



アーティストライブ風景

今

までの伝統を破って、新しいものを創っていくというメッセージが込められた「破舞」というテーマで、開催者側から来場者側に向けてメッセージが発信された。全日程に楽しいイベントが盛り込まれ、来場された方々には、存分に楽しんでいただけたように感じました。



ラジオ放送でムードも最高潮



多数の参加者で埋めつくされた会場

卒業研究発表

本学では、大学四年間の勉学・研究の総仕上げとして、四年生全員に卒業研究が必修として課せられている。毎年四年生になると全員が各研究室に所属し、それぞれ独自のテーマを決めて担当教授の指導のもと、一年間じっくりと研究に取り組むことになる。卒業研究は単独で行ってもよいが、数人のグループによる共同研究のかたちも可能だ。その集大成とも言えるのが卒業研究発表会で、毎年十二月末から一月にかけて実施される。



真剣そのものの発表風景

発表は、グループ研究の場合でも担当部分を決めて単独で行わなければならない。また、この発表内容と卒業論文の総合判定によって、卒業単位の認定が決定するため、学生たちは緊張した面持ちで発表会に臨んでいます。

院生のポスターセッション

昨秋十一月十六日、二号館一階のマイスタデイと学生ロビーを会場に「第九回院生研究成果公開ポスターセッション」が開催されました。院生たちが日頃の研究成果をボードで発表するイベントです。外部の方々にもご覧いただくため後期公開講座と同日に行われました。

会場には院生たちの発表ボードがずらりと並び、それぞれの研究成果をアピールしました。他学科の院生とお互いの研究内容について感想を話し合う姿も見られ、自分たちの成果を振り返りつつ、研究意欲を高めたようです。



発表ボードが並ぶ学生ロビー



成人式

一月十七日(火)に金井講堂において、恒例の学園成人式が開催され、今年は工学部の六百十二名を含む、学園全体では六百三十九名が新成人となりました。

金井理事長は「法律で大人として認められた皆さんにはいろんな権利が与えられるが、権利を主張するなら義務を全うしなければならぬ。積極性を持ち、力強く前進してほしい」と参加した学生たちを激励しました。新成人を代表して答辞を述べたのは、電気電子工学科二年の角谷友博君。「激しさを増す社会の変化をチャンスにとらえ、目標に向かって努力していきたい。思いやりの気持ちを持ち、平和な社会に貢献できる大人になることを誓います」と決意を述べました。



応援団の街頭募金

昨年暮の十二月十六日～十八日までの三日間、福井駅前と放送会館前において恒例の「NHK歳末助け合い」街頭募金活動に、本学応援団が協力しました。

二十年ぶりの大雪となった寒い冬の夕方、「歳末助け合いにご協力をお願いします」と

大きな元気な声で市民に呼びかけていました。市民から寄せられた善意の募金は、NHKに届けられます。

学生時代のボランティア活動は、今後の人生において大きなプラスになるものと思われ



新成人に祝辞を贈る金井理事長



大雪の中での活動風景

「後期公開講座」開講

平成十七年度後期公開講座が、昨年十一月十六日に開催され、一般市民、学生、教職員合わせて約五百三十人の方が聴講しました。今回は「若者の潜在能力を引き出す」というテーマに基づいて、本学硬式野球部監督の吉田和幸氏が「自己と仲間・チーム」と題し、又、付属高校硬式野球部監督の大須賀康浩氏は「アマチュア野球の指導者として得たもの」と題して講演を行いました。

コーディネーターの黒田教養部主任が加



多数の聴講者で埋まった会場風景

わった鼎談では、両監督の豊富な経験と実績に裏打ちされた指導手腕に、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

また、県下中学・高校の野球関係者も多数参加して、熱心に聴講されておりました。

「未来塾」開講

地域社会に開かれた学園を目指し、県民一般を対象にした「未来塾」が、昨年十一月十二日金井講堂で開催されました。今回の講師は、杏林大学外国語学部の金田一秀穂教授で、「心地よい日本語」をテーマに講演しました。普段何気なく使っている身近な日本語ですが、実は謎に満ちています。日本語研究の第一人者である金田一教授は、不思議な日本語とそれを使いこなしている日本人についてユーモアを交えながら講演しました。

また、若者の言葉遣いについて金田一氏は「乱れているのではない。変化していくのが言葉の宿命」と話し、「超〜」などの程度を強める表現や略語は「いつの時代にもある傾向」と説明。「レミヨ〜」「〜かも」などあ

いまいな表現を多様することには、若者が何となく友達と一緒に過ごすことを大切に、孤立や意見の対立を恐れる考え方が根底にあると指摘した。

「フォーラム」開催

環境問題などへの関心を高めようと、「環境・エネルギーフォーラムIN福井工大」が、金井講堂で開かれた。本学の学生を中心に約四百人が参加し、講演会など通して将来のエネルギー資源について考えた。初めに淑徳大学教授の北野大さんが「人・地球環境・エネルギー」と題して講演を行った。地球温暖化を取り上げて「この百年で気温が〇.六度上昇したといわれる。人間で例えるなら体温が三六、五度から三八度になった」と解説し、「もう百年すると、気温がさらに一、四度から五、八度に上昇するといわれている」と警鐘を鳴らした。

また、若者が多く参加しているとあって「ストレスは別の合金を研究しているときに偶然発見された。誰にでもそういうチャンスがある。偶然でも価値のあるものを見抜く力を身に付けてほしい」とエールを送った。

「春秋リーグ戦20連勝」の快挙

昨年十月十六日、硬式野球部は北陸大学野球秋季リーグを十戦全勝し、四季連続・六十二度目の優勝を決めました。春季リーグも十戦全勝で優勝しており、本年度リーグ戦二十連勝を成し遂げました。



春・秋連覇を達成し、マウンドに駆け寄るナイン

「ふくいソフトウェアコンペティション2005」において受賞

プログラム等の作品を募集し、その優秀性と先進性を競う「ふくいソフトウェアコンペティション2005」に、電気電子工学科四年生の学生チームが福井県ソフトウェア奨励賞に、経営情報学科三年の学生が福井県IT産業団体連合会会長賞を受賞しました。

表彰式は「ふくいITフォーラム2005」会場内で行われ、学生たちは緊張した面持ちで式典に出席しました。

「文部科学大臣奨励賞」受賞

「第二十回国民文化祭ふくい2005」現代美術展（公募展）において、建設工学科建築学専攻の川島洋一助教授と川島研究室の学生による作品が、文部科学大臣奨励賞（最優秀賞）を受賞しました。「記憶の輪郭」と題したこの作品は、福井県三国町の歴史的な町並みに原色カラーテープを貼り付けることにより非日常的な風景をつくり、伝統的な町家の造形を新鮮な眼で見直そうとするインスタレーション（仮設造形作品）です。



制作に取り組む学生



緊張した面持ちで記念撮影



紹介

Club

カヌー部

introduction

カヌー部は、同好会時代から数えて創立三十周年になります。その間、全日本学生カヌー選手権大会では数々の種目優勝や入賞を果たし、平成十六年には総合五位に輝きました。また、日本選手権でも五回の種目優勝をしており、世界大学カヌー選手権大会やアジアカヌー選手権大会にも代表選手を出しています。

カヌー競技は、湖などの静水面でスピードを競う「フラットウォーターレーシング」や川の急流で行う「スラローム」などがありますが、本学のカヌー部は主として「フラットウォーターレーシング」に力を入れています。あわら学舎が面している北潟湖が練習場所です。



The main war record

主な戦績

- ・全日本学生カヌー選手権大会 種目優勝 三回
- ・日本カヌー選手権大会 種目優勝 五回



体育部会



平成十七年度各クラブの主要成績

剣道部

■全日本学生剣道選手権大会(7/3)

個人戦 出場

■北信越学生剣道選手権大会(9/11)

団体戦 優勝

■北信越学生剣道新人大会

団体戦 2位

個人戦 優勝 富松 隆浩

■中部日本理工系大学高専剣道大会(1/22)

団体戦 優勝

馬術部

■越前馬術大会(4/15)

第2競技 馬場馬術競技

1位 吉村 実佳

第4競技 馬場馬術競技

1位 上田 和昇

第14競技 標準障害飛越競技

1位 高橋 淳

■中部学生自馬競技大会(6/21)

中障害飛越競技

団体1位(吉村・政兼・石川)

学生賞典馬場馬術競技

団体2位(高橋・吉村・政兼)

総合馬術競技

団体1位(高橋・石川・小笠原)

三種目総合

団体1位

■中部学生馬術女子選手権大会(6/24)

1位 吉村実佳

■全日本学生馬術競技大会(11/1)

出場

バレーボール部

■春季北信越大学男女バレーボール選手権大会

(5/12)

準優勝

■北陸三県大学バレーボール選手権大会

秋季リーグ戦(9/10)

準優勝

■全日本バレーボール男女選手権大会(12/5)

出場

硬式野球部

■北陸大学野球春季リーグ戦(4/9)

優勝

■全日本大学野球選手権大会(6/7)

出場

■北陸大学野球秋季リーグ戦(9/3)

優勝

陸上競技部

■北信越学生陸上競技対抗選手権大会(5/21)

フィールドの部 優勝

円盤投 1位 岩澤 秀一

棒高跳 1位 村野 裕一

5000m競歩 1位 大内康太郎

■北日本学生陸上競技対抗選手権大会(6/11)
円盤投 1位 岩澤 秀一

■全日本学生チャンピオンシップ(9/9)
1000m競歩 優勝 大内康太郎

■北信越学生陸上競技選手権大会(10/15)
円盤投 1位 岩澤 秀一
ハンマー投 1位 井上 明典

カヌー部

■全日本学生カヌー選手権大会(8/31)
出場

■日本カヌーフラットウォーターレーシング選手権大会(10/12)
出場

水泳部

■中部学生短水路選手権大会(6/5)

400mメドレーリレー
2位 (松本・三木・熊谷・玉木)

ソフトテニス部

■北陸学生ソフトテニス選手権大会(4/15)

個人戦 優勝 (有吉・池崎ペア)

■福井県春季一般選手権大会(4/24)

個人戦 優勝 (福澤・池崎ペア)

空手道部

■北信越学生空手道選手権大会(5/22)

個人戦 組手 優勝 伊藤 潤一
個人戦 形 優勝 今村 哲也

■全日本学生空手道選手権大会(7/3)

個人戦 出場

■全国空手道選手権大会(7/9)

出場

■北信越大学空手道選手権大会(9/11)

団体戦 組手 2位

■全日本大学空手道選手権大会(11/20)

出場

弓道部

■福井県弓道遠の大会(7/10)

団体戦 2位

■全日本学生弓道選手権大会(8/4)

個人戦 優勝 西村 仁宏
出場

柔道部

■全日本学生柔道体重別選手権大会(10/1)

個人戦 出場

■湊谷杯北信越学生柔道体重別選手権大会(11/27)

男子66K級優勝 絹田 哲也
男子81K級優勝 坂根 陽一

サッカー部

■北信越大学サッカーリーグ(9/11)

優勝

■全日本大学サッカー選手権大会(12/21)

出場



平成十八年四月十日

福井工業大学後援会

会長 見谷貞次

保護者各位

平成十八年度 後援会定期総会と

地区懇談会開催のご案内について

早春の候 保護者の皆様方にはご壮健でお過ごしのこととお喜び申し上げます。平成十八年度、後援会定期総会と地区懇談会の開催を別記のとおり、ご案内申し上げます。

地区懇談会は、学生の**成績・日常生活・就職**などの諸問題について、**大学の先生と保護者が個別に話し合える絶好の機会**でありますので、都合のよい会場を選んで是非ご出席ください。

準備の都合上、同封いたしました用紙にご記入いただき、**四月三十日必着**でお出しくださいますようお願いいたします。

平成十八年度 定期総会の開催

日時 平成十八年五月二十日(土) 午後一時～
会場 福井工業大学二号館七〇二号室
議題 ①平成十七年度事業報告並びに決算について
②平成十八年度役員選出について

③平成十八年度事業計画案並びに予算案について

総会終了後、

福井地区の懇談会を開催いたします。



多数の方に参加いただいた滋賀地区の懇談会と個別面談（昨年度）

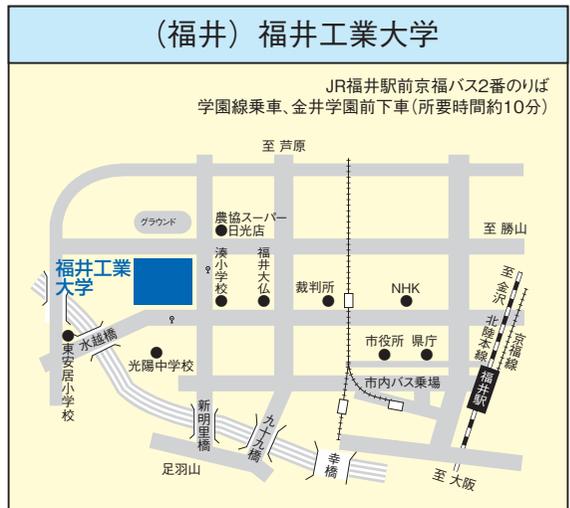
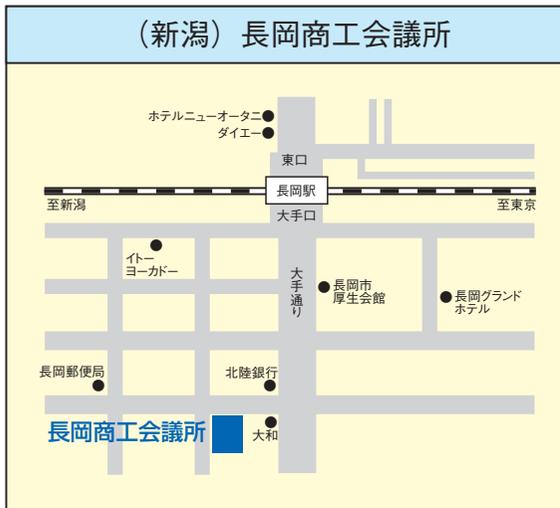
地区懇談会開催案内

地区	日程	会場	電話番号	
福井	5月20日(土) 定期総会終了後～	福井工業大学	福井市学園3-6-1	0776-29-2620
新潟	6月3日(土) 開会13:30～	長岡商工会議所	長岡市坂之上町2-1-1	0258-32-4500
岐阜	6月3日(土) 開会13:00～	グランパレホテル	岐阜市金町8-20	058-265-4111
和歌山	6月3日(土) 開会13:00～	ワカヤマ第2富士ホテル	和歌山市湊紺屋町1-20	0734-31-3352

福井工業大学後援会会報

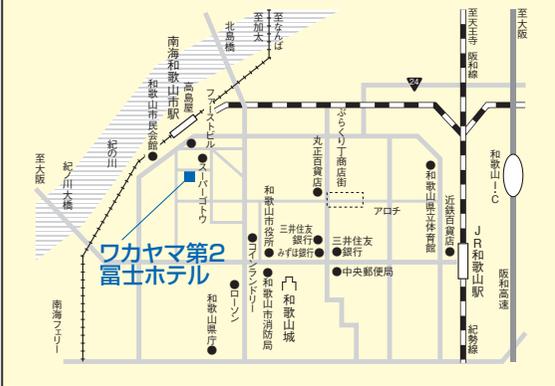
地区	日程	会	場	電話番号
東京	6月3日(土) 開会13:00～	アルカディア市ヶ谷	東京都千代田区九段北4-2-25	03-3261-9921
宮城・山形 福島・以北	6月4日(日) 開会13:00～	山形七日町ワシントンホテル	山形市七日町1-4-31	023-625-1111
滋賀	6月4日(日) 開会13:30～	彦根勤労福祉会館	彦根市大東町4番28号	0749-23-4141
四国	6月4日(日) 開会13:00～	高松東急イン	高松市兵庫町9-9	087-821-0109
静岡	6月10日(土) 開会13:30～	静岡商工会議所会館	静岡市黒金町20-8	054-253-5111
三重	6月10日(土) 開会13:00～	三重県教育文化会館	津市桜橋2-142	0592-28-1122
石川	6月10日(土) 開会13:30～	石川県文教会館	金沢市尾山町10番5号	076-262-7311
富山	6月11日(日) 開会13:00～	高岡商工ビル	高岡市丸の内1-40	0766-23-5000
長野	6月11日(日) 開会13:00～	長野バスターミナル会館	長野市大字中御所岡田町178-2	026-228-1155
名古屋	6月11日(日) 開会13:00～	安保ホール	名古屋市中村区駅3-15-9	052-561-9831
京都	6月17日(土) 開会13:30～	ビル葆光(ホーコー)	京都市中京区室町御池南西角	075-211-4171
兵庫	6月17日(土) 開会13:00～	姫路商工会議所	姫路市下寺町43	0792-23-6551
大阪	6月18日(日) 開会13:30～	大阪駅前第3ビル(17階)	大阪市北区梅田1-1-3	06-6344-0205
福知山	6月18日(日) 開会13:30～	中丹勤労者福祉会館	福知山市昭和新町105番地	0773-23-2216

※駐車場に限りがありますので、なるべく公共機関等での来場にご協力をお願いいたします。



(和歌山) ワカヤマ第2富士ホテル

南海和歌山市駅より徒歩3分
JR和歌山駅よりタクシーで10分

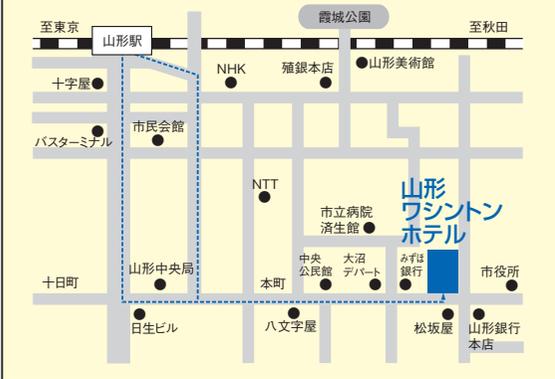


(岐阜) グランパレホテル



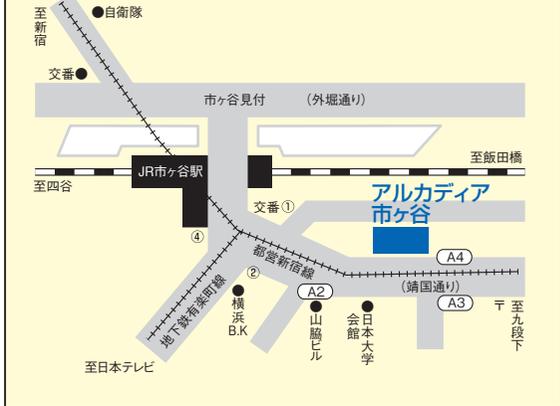
(山形・福島・宮城以北) 山形七日町ワシントンホテル

JR山形駅より車で5分、バスで市役所下車徒歩1分
山形空港より車で30分

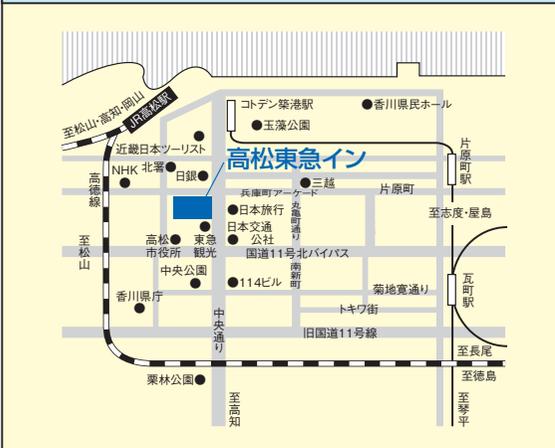


(東京) アルカディア市ヶ谷

市ヶ谷駅より徒歩2分



(四国) 高松東急イン

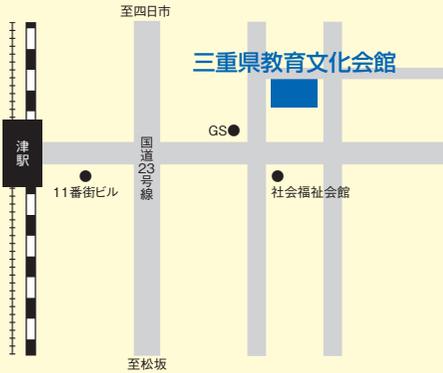


(滋賀) 彦根勤労福祉会館



(三重) 三重県教育文化会館

津駅東口より徒歩6~7分

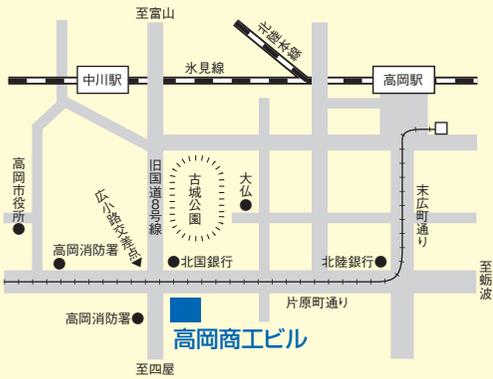


(静岡) 静岡商工会議所会館

JR静岡駅より徒歩5分



(富山) 高岡商工ビル



(石川) 石川県文教会館



(名古屋) 安保ホール

JR名古屋駅桜通口出口より徒歩2分

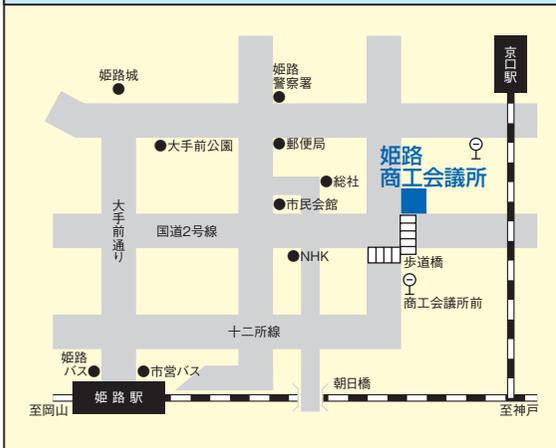


(長野) 長野バスターミナル会館

JR長野駅より徒歩8分



(兵庫) 姫路商工会議所



(京都) ビル葆光 (ホーコー)



(京都) 中丹勤労者福祉会館



(大阪) 大阪駅前第3ビル (17階)



本年度の講座ご案内

講座名	テーマ	月日	申込先
市民ふれあい教室	高校・大学受験に役立つ科学(物理)	5月13日(土)	庶務課 (0776) 29-7864
	アツと言わせる科学マジック教室	5月20日(土)	
	「源氏物語」へのいざない	6月24日(土)	
	パソコン教室	7月22日(土)・29日(土)	
	高校・大学受験に役立つ科学(化学)	8月21日(月)	
	鉄のお化粧	9月16日(土)	
	“あなたの住まい”大丈夫ですか?	9月16日(土)・30日(土)	
	自作パソコンの組立	10月7日(土)・8日(日)	
	蓄音器からDVD:自分のレコードを作ろう	10月21日(土)	
公開講座	エンジンいろいろ	11月11日(土)	
	未来の自動車と電気電子技術	6月14日(水)	
	世界最長明石大吊橋が出来るまで	11月15日(水)	

平成18年度 学 年 暦

前 期

平成18年		
4月	1日(土)	学年開始
	5日(水)	入学式
	6日(木)～18日(火)	全体オリエンテーション・学科別オリエンテーション 前期受講登録ガイダンス・Web受講登録講習会 「自然と科学」集中講義・永平寺参禅研修(学科別) 健康診断
5月	19日(水)	前期授業開始
	1日(月)	学園休業日
	2日(火)	学園休業日
	13日(土)～14日(日)	五月祭(体育祭(13日)・音楽祭(14日))
	16日(火)	学園創立57周年記念行事
8月	5日(土)～9月24日(日)	夏季休業
9月	25日(月)～27日(水)	「自然と科学」集中講義
	28日(木)～29日(金)	後期受講登録ガイダンス
	30日(土)	前期終了

後 期

10月	1日(日)	後期開始
	2日(月)	後期授業開始
	7日(土)～9日(祝)	大学祭
	10日(火)	大学祭閉会式
	11日(水)	代休
12月	23日(祝)	冬季休業
	～平成19年1月8日(祝)	
平成19年		
1月	9日(火)	後期授業再開
	中旬	学園成人式(式典)
	下旬	卒業研究発表
2月	下旬	欧州工学研修旅行
	16日(金)～3月31日(土)	春季休業
3月	15日(木)	学位記授与式
	31日(土)	学年終了